

感染症及び食中毒の予防及び
まん延の防止のための指針

放課後児童デイサービス ship☆now

1. 事業所における感染対策に関する目的と基本的な考え方

放課後等デイサービスには、利用者の健康と安全を守るための支援が求められている。 利用者の安全管理の観点から感染対策は、きわめて重要であり、利用者の安全確保は事業所の責務であることから、感染を未然に防止し、感染症が発生した場合、拡大しないよう必要な措置を講ずるための体制を整備することを目的に、感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止のための指針を定め、利用児童並びに職員の安全確保を図る。

2. 感染対策のための委員会に関する基本方針

(1) 感染対策委員会の設置

感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止に努める観点から、「感染対策委員会」（以下「委員会」という。）を設置します。なお、対策委員会はほかの委員会（虐待防止・身体拘束委員会）との兼用とする。

(2) 目的

- ① 事業所の課題を集約し、感染対策の方針・計画を定め実践を推進する。
- ② 決定事項や具体的対策を施設全体に周知するための窓口となる。
- ③ 事業所における問題を把握し、問題意識を共有・解決する場となる。
- ④ 感染症が発生した場合、指揮の役割を担う。

(3) 委員会の構成とその役割

委員会の委員長は、管理者とします。委員会の構成員は、管理者および児童発達支援管理責任者を担当者とし、必要に応じて職員及び専門家に参画を依頼します。専任の感染対応策を担当する者を配置します。必要に応じて、協力医療機関の医師や保健所等に助言を仰ぎます。

(4) 感染対策委員会の開催

委員会は委員長が収集し、概ね 6 か月に 1 回以上の定期会議、感染症が流行する時期等を勘案して必要時に臨時会議を開催します。結果については職員等に周知します。

3. 感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針

全職員を対象に、感染対策の基礎的内容等の適切な知識の普及・啓発をするとともに、事業所における指針に基づき、衛生管理の徹底や衛生的な支援を行うため、年 2 回以上の訓練を実施します。また、新規採用者には、採用時に研修を行います。

4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針

感染症の発生状況を把握するために、医療関連感染および感染発生の状況の把握を行います。また、感染拡大をいち早く特定し、迅速な対応がなされるよう、感染にかかる情報管理を適切に行います。発生時は委員会が中心となり、発生の原因の究明、改善策の立案、実施を行います。その内容については、感染対策委員会で報告します。

5. 感染発生時の対応に関する基本方針

「放課後等デイサービス ship☆now 衛生管理マニュアル」に沿って手洗いの徹底、個人防護用の使用など感染対策に常に努めます。疾患及び病態などに応じて感染経路別予防策（接触感染、飛沫感染、空気感染）を追加して実施します。報告が義務付けられている病気が特定された場合には、速やかに保健所に報告します。特定の感染症が集団発生した場合、保健所などと連携を図り対応します。

(1) 平常時の対策

1. 施設内の衛生管理（環境の整備、排泄物の処理、血液・体液の処理）

当施設では、感染症及び食中毒の予防及び蔓延の防止のため、施設内の衛生保持に努めます。また、手洗い場、トイレ等の整備と充実に努めるとともに、日頃から整理整頓を心掛け、換気・清掃・消毒を定期的に実施し、施設内の衛生管理、清潔の維持に努めます。

2. 支援にかかる感染症対策（標準的な予防策）

支援の場面では、職員の検温・手洗い、手指の消毒、うがいを徹底し必要に応じてマスクを

着用します。また、血液・体液・4 排せつ物・嘔吐物等を扱う場面では最新の注意を払い、適切な方法で対処します。利用者の異常の兆候をできるだけ早く発見するために、利用者の健康状態を常に注意深く観察することに留意します。

3. 手洗いの基本

4. 消毒液の適正な使用

(2) 発生時の対応

万が一、感染症および食中毒が発生した場合は、「厚生労働大臣が定める感染症または食中毒の発生が疑われる際の対処等に関する手順」に従い、感染の拡大を防ぐため、次の対応を図ります。

1. 発生状況の把握
2. 感染拡大の防止
3. 医療機関や保健所、市町村の関係機関との連携
4. 関係者への連絡
5. 行政への報告

6. 連絡体制

委員長を中心とした事業所内及び関連機関との連絡体制を整備します。

○行政機関その他連絡先

- ・西部厚生環境事務所・保健所 広島市所 082-513-5514
- ・西部保健所広島市所保険課保 082-513-5521
- ・広島市立舟入市民病院 082-232-6195

・協力医療機関

- くすの木クリニック 082-238-7764

7. その他感染対策の推進のための基本方針

当該指針は、委員会において定期的に見直しを実施し、必要な改正などを行います。

8. 指針の閲覧について

感染症及び職有毒の予防及びまん延の防止のための指針は、利用者及び家族等が確認できるよう弊社のホームページに公表します。

附則

令和 7 年 7 月 1 日より施行する。